

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全に関するご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-7

施工取扱説明書

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

! 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
! 厳守 器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	! 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。
! 禁止 この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。→火災・感電の原因になります。 この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。→早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。 このような場所には取付けしないでください。この器具は天井・壁・直置取付可能器具です。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。 縦方向の壁・傾斜天井 不安定な場所 補強のない場所 別売のスパイクで取付ける場合は、このような場所には取付けしないでください。土壌のしっかりした場所に取付けてください。→火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。 湿気の多い場所 振動や衝撃の多い場所 不安定な場所 冠水のおそれがある場所 草木などが成長しておおわれそうな場所	! 禁止 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。 器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。→電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。 ! アース工事 アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。→アースが不完全な場合、感電の原因になります。 電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。→そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。 ! 厳守 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない
ください。→やけどの原因になります。

点検

点検

ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの
取付けや、器具の近くにストーブなどの高温の
ものを置かないください。また、燃えやすい
ものを近づけて使用しないでください。→火災
の原因になります。

点検

点検

照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異な
りますが、一般的な使用状態で8～10年が目安
です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)に
よる点検を実施していただき、不具合がありま
したら適切な処置を施してください。→放置す
ると、火災・感電・故障の原因になります。

点検

点検

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ	器具長さ
AU49039L	AC100V	0.22A	21.5W	LED	1500タイプ
AU49040L		0.19A	17.6W		1200タイプ
AU49041L		0.16A	14.5W		900タイプ
AU49042L		0.10A	9.4W		600タイプ

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付面が十分乾燥していることを確認する
器具や取付面の変色の原因になります。

3 スパイク(別売)を使用する場合は設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取外すか、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。

4 取付ピッチ
下図は器具を取付面から見た図です。

●単体取付の場合
<AU49039L>

<AU49040L>

<AU49041L>

<AU49042L>

取説No. U101-060 NN／S・T-101

- 2 -

●連結取付の場合(連結する場合は入力側コネクタ、送り側コネクタで接続してください。
器具間は5mm開ける設定です)

<例：AU49041L+AU49039L>

<例：AU49041L+AU49040L>

<例：AU49041L+AU49041L>

5 器具の取付けは2人で作業をする(1500タイプのみ)

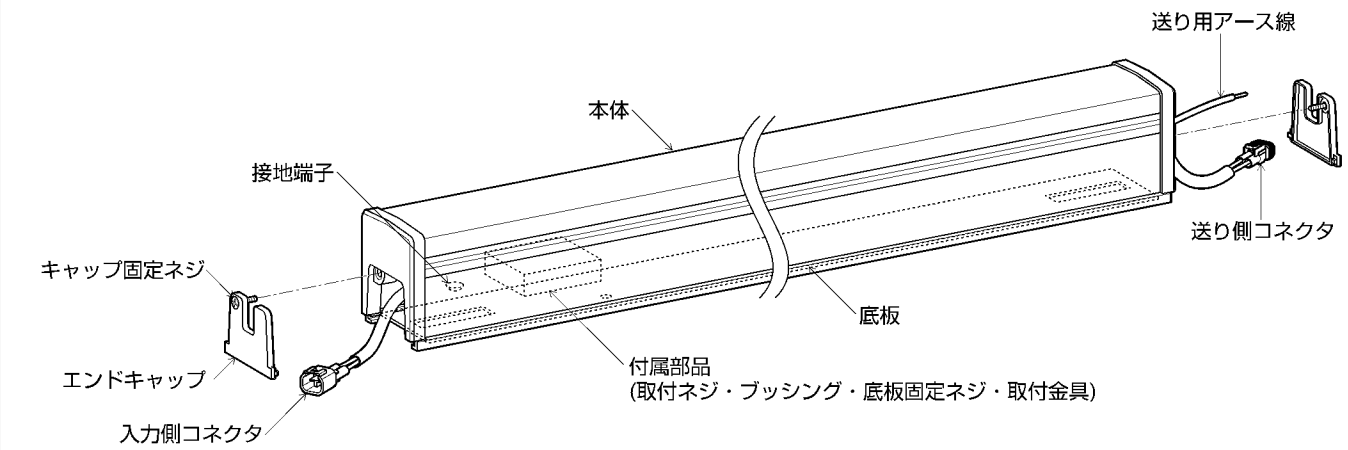
6 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

- 3 -

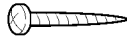
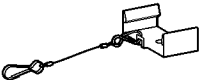
取説No. U101-060 NN／S・T-101

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

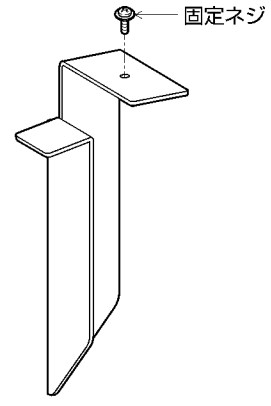
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



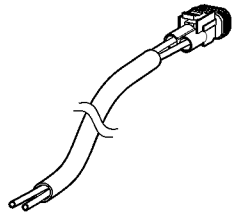
〈付属部品〉

- | | |
|--|----------------------|
|  | 取付ネジ・・・・・・・・・・2本 |
|  | ブッシング・・・・・・・・・・1個 |
|  | 底板固定ネジ・・・・・・・・・・1本 |
|  | 取付金具(落下防止ワイヤー付)・・・2個 |

〈スパイク(別売)〉
AE49044E



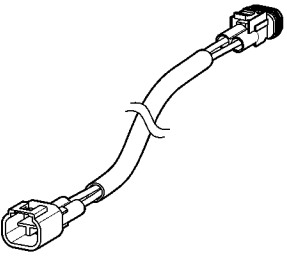
〈電源コネクタ(別売)〉
AE49045E



〈付属部品〉

- | | |
|---|--------------------|
|  | 終端コネクタ・・・・・・・・・・1個 |
|---|--------------------|

〈連結コネクタ(別売)〉
AE49046E

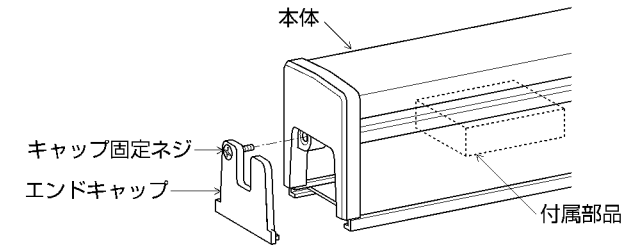


1 エンドキャップを取外す

キャップ固定ネジをゆるめ、本体から両端のエンドキャップを取外し、底板をスライドさせ、袋に入った付属部品を取り出す。

付属部品

- | | |
|--------------------|----|
| 取付ネジ・・・・・・・・・・ | 2本 |
| ブッシング・・・・・・・・・・ | 1個 |
| 底板固定ネジ・・・・・・・・・・ | 1本 |
| 取付金具(落下防止ワイヤー付)・・・ | 2個 |

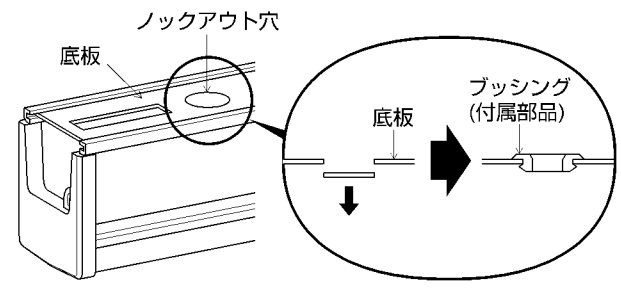


〈取付面から電源を引き込む場合〉

底板のノックアウト穴をあけ、付属のブッシングを取付ける。

※電源コネクタ(別売)は使用しません。

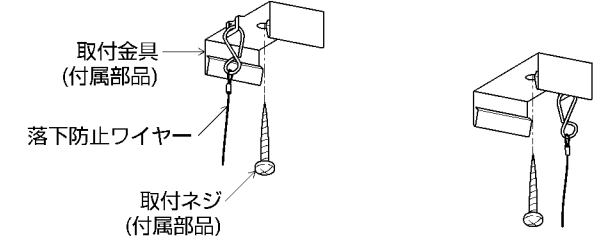
施工手順4の〈電源コネクタ(別売：AE49045E)を使用しないで電源線を接続する〉を参考に電源線を接続してください。



2 付属の取付金具を取付ける

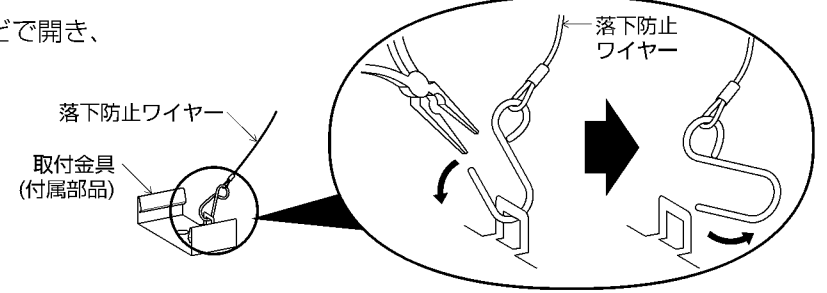
〈天井・壁取付の場合〉

取付金具(落下防止ワイヤー付)のワイヤー部分を外側に向け、取付ネジで取付ける。

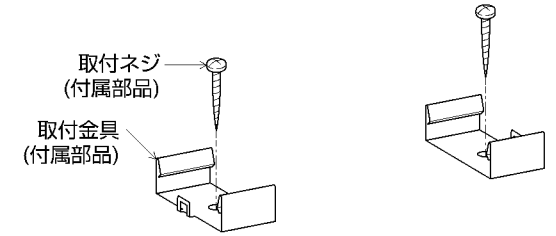


〈直置取付の場合〉

①落下防止ワイヤーのフックを工具などで開き、取付金具から取外す。



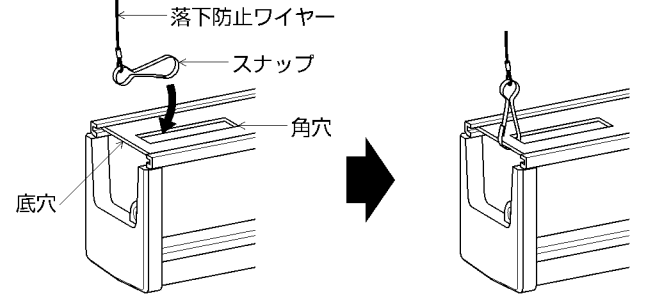
②取付金具を取付ネジで取付ける。



3 落下防止ワイヤーを取付ける

〈天井・壁取付の場合のみ〉

落下防止ワイヤーのスナップを底板の両側の角穴に取付ける。



4 電源線を接続する

＜電源コネクタ(別売：AE49045E)を使用して電源線を接続する＞

①電源コネクタ(別売)のリード線と電源線を確実に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

⚠ 警告 電源の接続および絶縁を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。

②電源コネクタ(別売)を本体の入力側コネクタに確実に差し込む。
はずす時はツマミを押しながら抜く。

⚠ 警告 コネクタの接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。

③接地端子が見えるまで底板をスライドさせる。

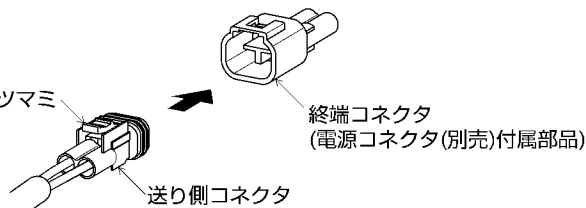
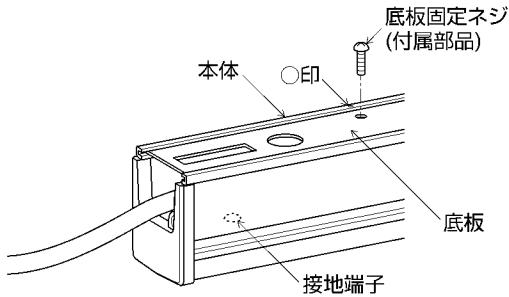
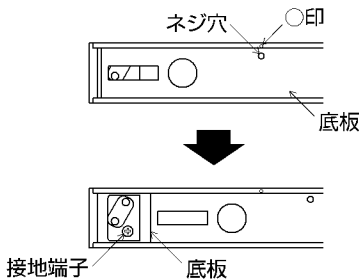
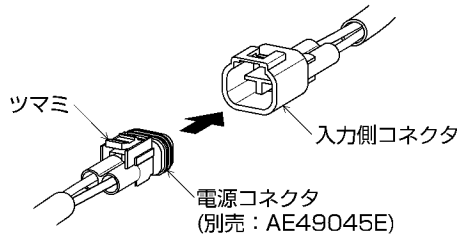
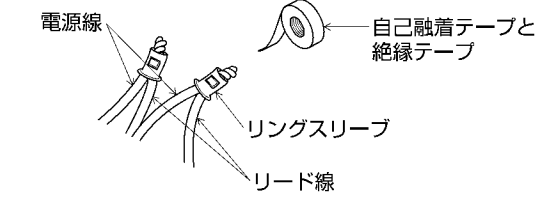
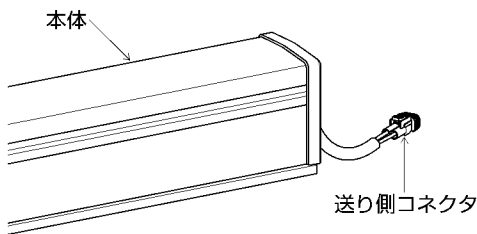
※D種(第三種)接地工事を行なう。

④底板のネジ穴を本体の○印の位置までスライドさせ、
付属の底板固定ネジで固定する。

※連結して使用する際は＜連結取付の場合＞を参照してください。

⑤終端側のコネクタを絶縁する
本体の送り側コネクタを、電源コネクタ(別売)に付属の終端コネクタに確実に差し込む。

⚠ 警告 コネクタの接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



＜電源コネクタ(別売：AE49045E)を使用しないで電源線を接続する＞

①電源穴に電源線と接地線を通し、本体から引き出す。

②接地端子が見えるまで底板をスライドさせる。

③本体の入力側コネクタのリード線をペンチ等で切断してから、リード線と電源線を確実に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

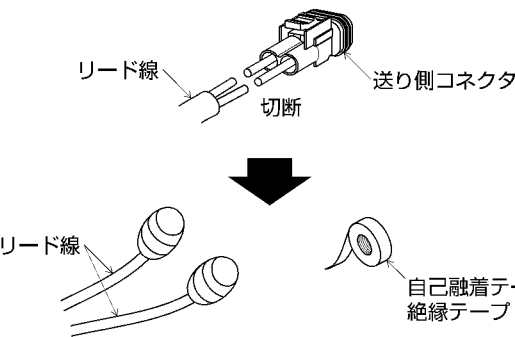
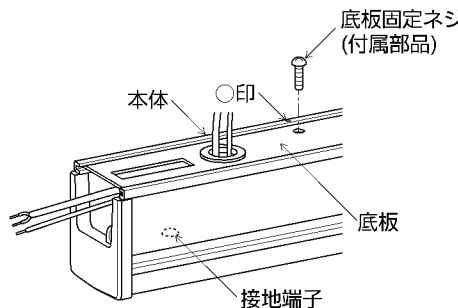
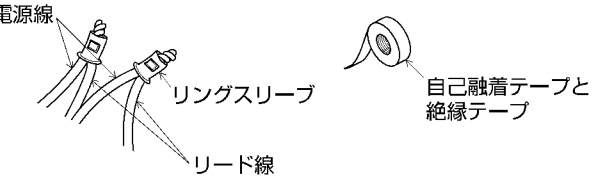
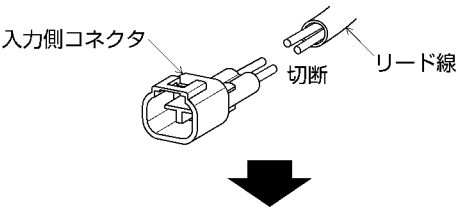
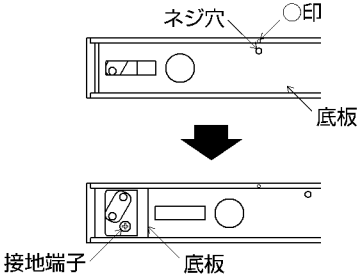
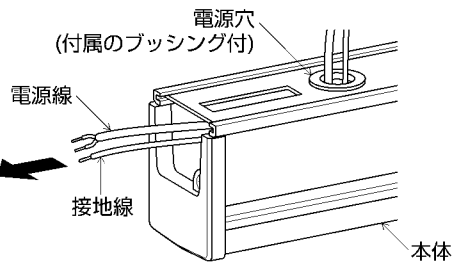
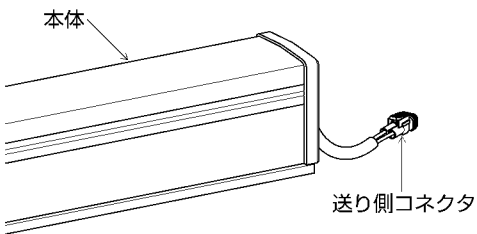
⚠ 警告 電源の接続および絶縁を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。

④底板のネジ穴を本体の○印の位置までスライドさせ、
付属の底板固定ネジで固定する。

※連結して使用する際は＜連結取付の場合＞を参照してください。

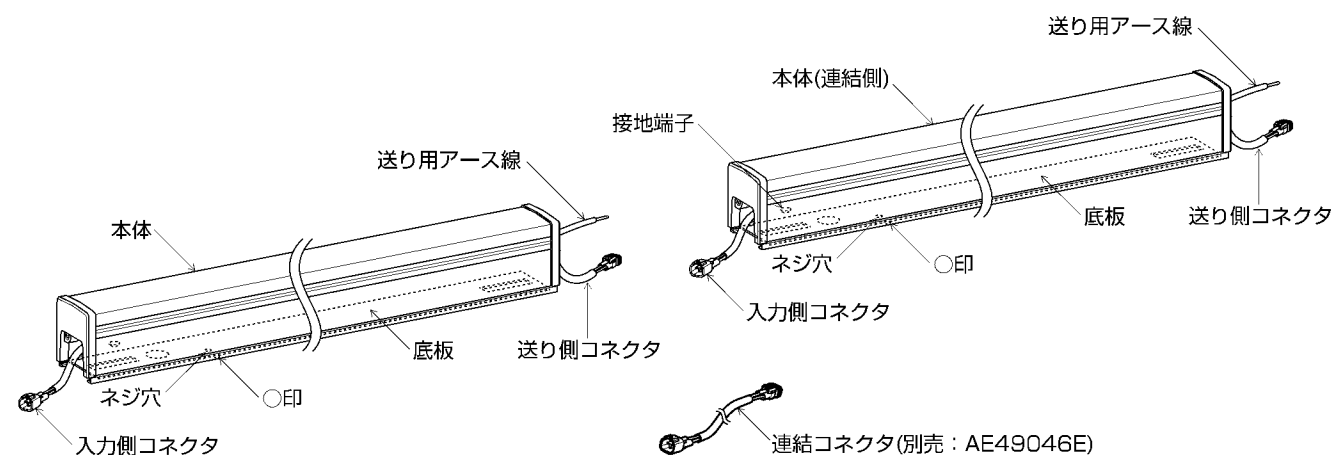
⑤終端側のコネクタを絶縁する
本体の送り側コネクタのリード線をペンチ等で切断し、
リード線に防水および絶縁処理を行なう。

⚠ 警告 絶縁を確実に行ってください。
絶縁が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



<連結取付の場合>

- ※連結する場合は入力側コネクタ、送り側コネクタで接続してください。
- ※送り配線は照明器具専用とする。(送り容量6A以下)

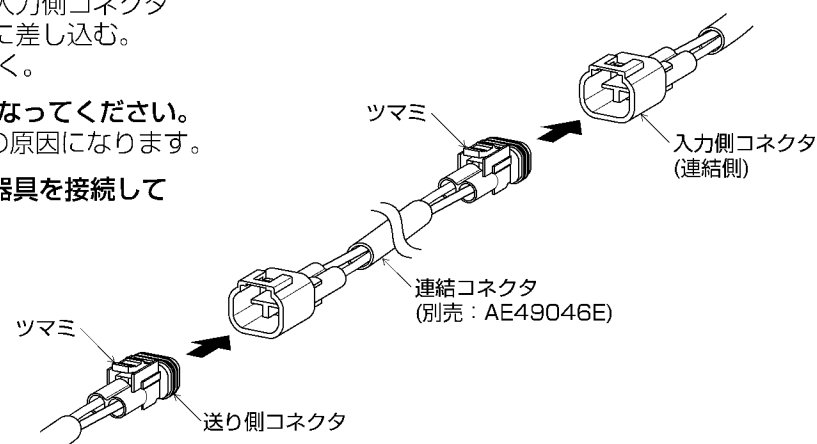


<連結コネクタ(別売：AE49046E)を使用して本体を連結する>

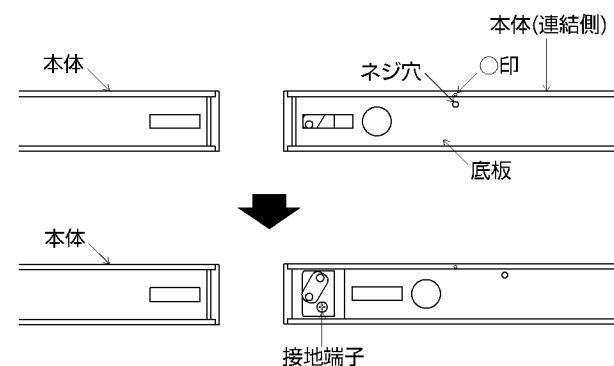
- ①送り側コネクタと本体(連結側)の入力側コネクタの間に連結コネクタ(別売)を確実に差し込む。
はずす時はツマミを押しながら抜く。

⚠警告 コネクタの接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。

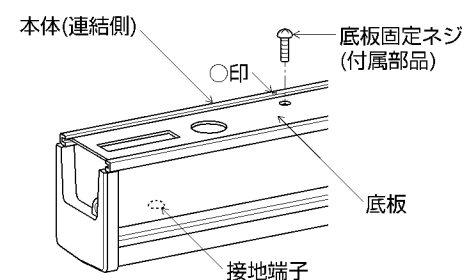
- ※連結コネクタ(別売)は必ず1本で器具を接続してください。



- ②接地端子が見えるまで底板をスライドさせる。
※D種(第三種)接地工事を行なう。



- ③底板のネジ穴を本体の○印の位置までスライドさせ、付属の底板固定ネジで固定する。



<連結コネクタ(別売：AE49046E)を使用しないで本体を連結する>

- ①送り側コネクタと本体(連結側)の入力側コネクタを確実に差し込む。
はずす時はツマミを押しながら抜く。

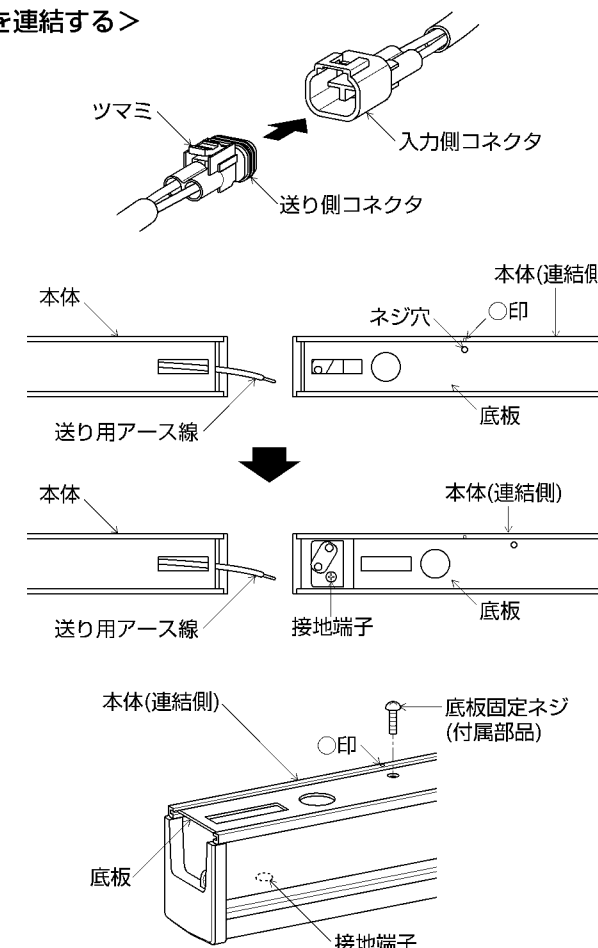
⚠警告 コネクタの接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。

- ②接地端子が見えるまで底板をスライドさせる。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

※送り用アース線を連結側の接地端子に接続する。

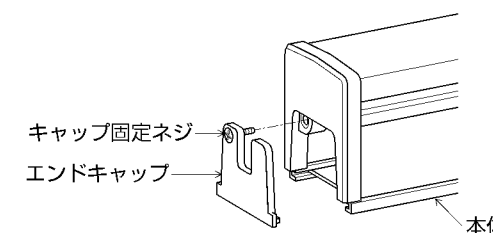
- ③底板のネジ穴を本体の○印の位置までスライドさせ、付属の底板固定ネジで固定する。



5 エンドキャップを取付ける

エンドキャップを本体に合わせ、キャップ固定ネジで取付ける。

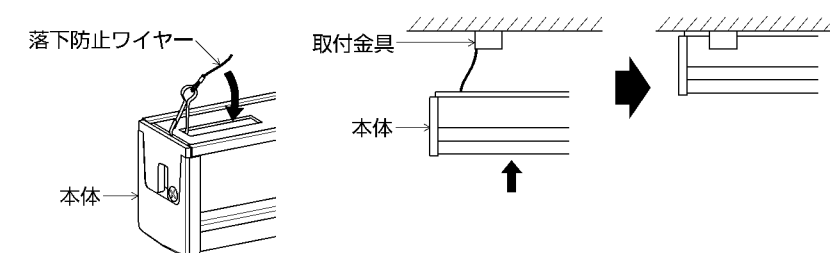
※コネクタまたは電線の接続部は本体内に収納してからエンドキャップを取付けてください。



6 本体を取付ける

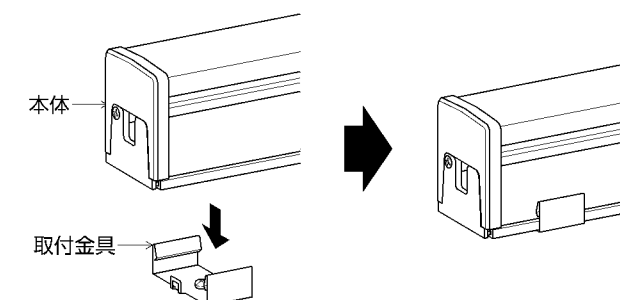
<天井・壁取付の場合>

落下防止ワイヤーを本体内に
入れてから、本体を取付金具
にはめ込む。



<直置取付の場合>

本体を取付金具にはめ込む。

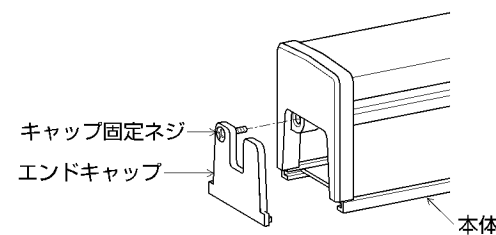


7 点灯の確認を行なう

<別売:スパイク(AE49044E)を使用する場合>

1 エンドキャップを取外す

キャップ固定ネジをゆるめ、本体から両端のエンドキャップを取外す。



2 電源線を接続する

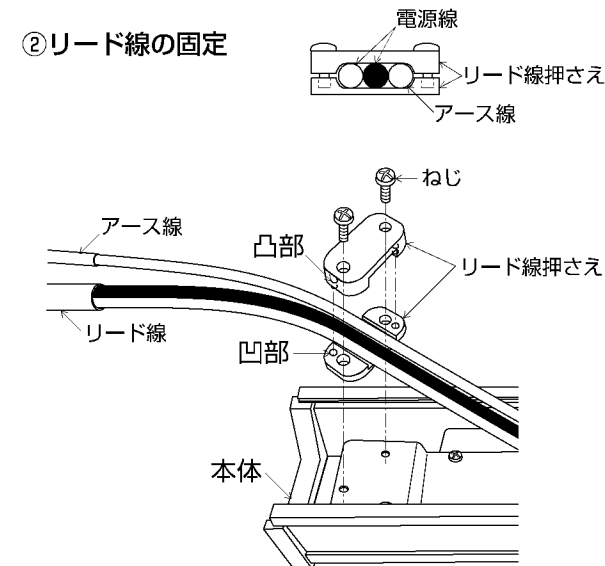
<電源コネクタ(別売: AE49045E)を使用して電源線を接続する>

①施工手順4の<電源コネクタ(別売: AE49045E)を使用して電源線を接続する>を参考に電源線を接続する。

②リード線押さえのねじを外し、リード線とアース線を固定させる。

※連結して使用する際は<連結取付の場合>を参照してください。

③施工手順4の<電源コネクタ(別売: AE49045E)を使用して電源線を接続する>を参考に終端側のコネクタを絶縁する。



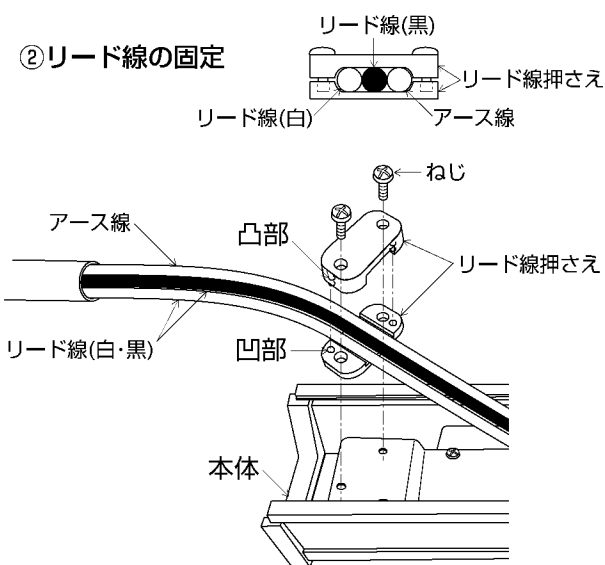
<電源コネクタ(別売: AE49045E)を使用しないで電源線を接続する>

①施工手順4の<電源コネクタ(別売: AE49045E)を使用しないで電源線を接続する>を参考に電源線を接続する。

②リード線押さえのねじを外し、リード線とアース線を固定させる。

※連結して使用する際は<連結取付の場合>を参照してください。

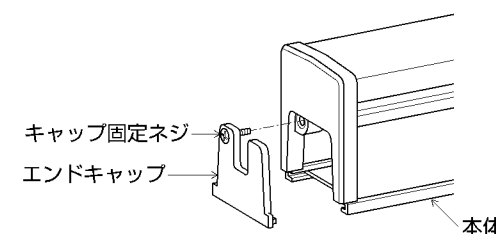
③施工手順4の<電源コネクタ(別売: AE49045E)を使用しないで電源線を接続する>を参考に終端側のコネクタを絶縁する。



3 エンドキャップを取付ける

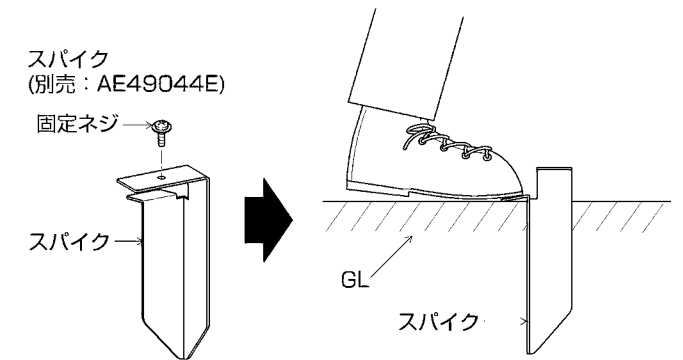
エンドキャップを本体に合わせ、キャップ固定ネジで取付ける。

※コネクタまたは電線の接続部は本体内に収納してからエンドキャップを取付けてください。



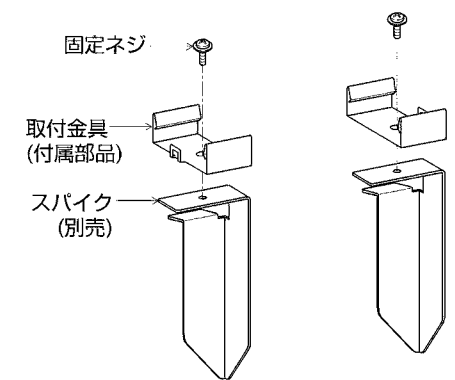
4 スパイク(別売: AE49044E)を埋め込む

- ①スパイク(別売)に付属している固定ネジを取外す。
- ②スパイクを足で踏んで、完全に地中に埋め込む。



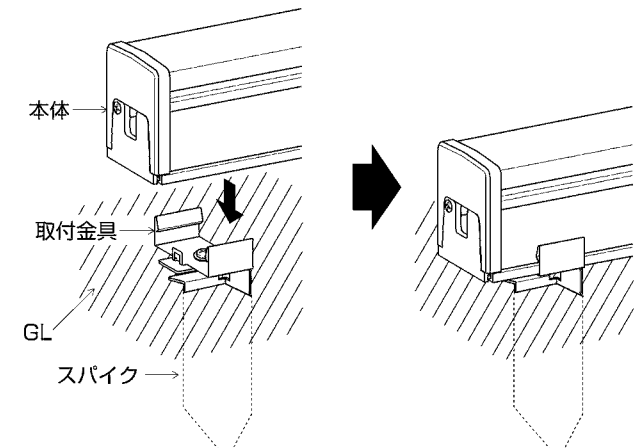
5 付属の取付金具を取付ける

施工手順1の<直置取付の場合>の①を参考に付属の取付金具から落下防止ワイヤーを取外してから、取付金具をスパイク(別売)に合わせ、スパイクに付属の固定ネジで取付ける。



6 本体を取付ける

本体をスパイクの付いた取付金具にはめ込む。



7 点灯の確認を行なう

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- 調光器(別売)を使用しでの調光時、および器具取付場所により、器具からのうなりが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 調光器(別売)と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定の調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

■LEDユニットについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。